

## 地域の活性化をめざして…話・和・輪

### 市女性連盟が主催して

### 「市長と話してみませんか」



1月28日、中郷多目的集会所で、市女性連盟主催の「市長と話してみませんか」が開催されました。今年で第7回となります。

「市長とこれだけの近さで話ができる機会を設け、

回を重ねてきたのは、他の街ではなかなかないこと。ざつくばらんな交流ができれば」と、緑川紀子会長の挨拶で始まりました。

市長の市政報告は、やはり市立病院問題が中心となりました。内科医の増員、外科医の確保の見通しがつき、初期救急の対応ができれば、初期救急の対応ができるようになること、ただし要望の高い脳外科医についてはまだ交渉中であることなどが述べられました。

質疑応答ではまず、磯原町中心街の活性化についての質問が出されました。市長は、ジャスコの撤退など行政としてもなんとか出たい、良い案がなかなか出せない、商店会や関係者で活性化の協議など必要だと考える、と答弁。

観光で活性化しようとするなら公衆トイレの整備が必要と考えるがどうか、との質問もだされました。市長は、どこにでも作るというのではなく、公共施設の利用なども考え、トイレマップなども検討してい



## 焼つきり

毎年、地域の農家が共同し、消防団の協力も得て取り組まれている野焼きの風景(磯原町木皿地区で)

く、との答えでした。

ブルーツリーリズムの進展状況や東電からの寄付金について、さらに子どもの安全管理についてなど、質問がつつぎました。

最後のティータイムでは、約70名の参加者が交流

を深めました。

市長のスケジュールの関係で、今回は質問の時間が十分とれなかったこともあつてか、ある参加者からは「ゴミの問題などもっと聞きたかった」との声も聞かれました。

## 「手をつなぐ親の会」作品展とバザー

障害をもつ子どもたちを支える「手をつなぐ親の会」の主催で、子どもたちの作品展とバザーが1月27、28日と開かれました。

会場のふれあいセンター



では、バザーの品々を囲むように子どもたちの作品が展示され、北茨城養護学校の生徒さんの陶芸作品や木工品も販売されました。ロビーでは、各学校「親の会」の皆さんの手作りの手工艺品やクッキーなどが並び、和やかな雰囲気です。

小さい子どもでも、安全に楽しく買い物を楽しめる、と親御さんの評判もあり、終始とても温かい雰囲気のパザーとなりました。

## インフル エンザ の中間集計

インフルエンザ予防接種者は、費用の半額を市が補助する19才未満と65才以上を合わせて、12月末で9078人(1月分は集計中)。「かかったけど、予防接種のおかげが軽く済んだ」とのお年寄りの声も聞かれます。接種への助成は先月末で終了しましたが、流行はこれからかと懸念されます。かかったかと思つたとき、早めの受診ならば効果の高い治療薬もあるとのこと。まだまだ寒さは続きます。皆さんご自愛を！

## きたる2/11 百里 初午まつり

東茨城郡小川町にある自衛隊百里基地の真ん中、誘導路を「く」の字に曲げている平和公園で、毎年2月11日に「初午まつり」が開かれています。

とくに今年は、米兵300名とともに米軍機の訓練が移転してくることが伝えられ、いっそう注目を集めています。参加・お問合せは本紙編集部まで。